

■大沢野リーディングプロジェクト（LP）評価案

・評価はベース案（現状のまま）と比較し、項目ごとに判定。

凡例（判定） ◎：現状より大きく「向上」 ○：現状より「向上」 △：「現状維持」
※コストの評価のみ 削減効果が高い案の順に「◎」、「○」、「△」と判定

記述の視点：地域別実行計画の一部がLPにより実現する → 地域全体にどう影響を与えるかという視点で記述（案により内容が変わらないものは共通項として記述）

→ 案により差異が生じるものは個別に記述

課題	評価項目	A	判定	B	判定	B'	判定	D	判定	ベース案
① コスト （施設の維持・更新費）	・コストを長期的（50年間）に、どの程度削減できるか	【共通】 施設群としての総面積縮小による削減効果 ○50年事業額 【70億円】 うち施設整備 29億円 施設運営 41億円 ○充実したホール整備によりコスト減少幅は最小。	○	○50年事業額 【65億円】 うち施設整備 27億円 施設運営 38億円 ○B、B'、Dいずれもコストは同程度となる。	◎	○50年事業額 【66億円】 うち施設整備 28億円 施設運営 38億円 ○B、B'、Dいずれもコストは同程度となる。	◎	○50年事業額 【64億円】 うち施設整備 26億円 施設運営 38億円 ○B、B'、Dいずれもコストは同程度となる。	◎	事業額【131億円】（参考）
② コミュニティの維持	・コミュニティを維持するための機能が確保されるか。	【共通】 多機能化されたコミュニティ施設（大沢野公民館、生涯学習センター）が新規複合施設として整備・維持される。 ○集会機能は最低限の機能が確保される。	○	○様々な用途で使用可能な多目的スペースが確保される。	◎	○様々な用途で使用可能な多目的スペースが確保される。	◎	○集会機能は最低限の機能が確保される。	○	大沢野公民館維持
③ 地域の活性化	・地域外から人を呼び込める機能が確保できるか。	【共通】 地元の物産品や飲食サービスなど地域外から訪れる方々への物販スペースの確保を検討する。 ○充実したホールの整備により、地域外の人を呼び込むイベント開催が期待できる。	◎		○	○大沢野ならではの特性を活かした学び・遊びの場を確保することで、独自性のある施設が整備される。	◎		○	物販スペース無
④ 文化の振興	・スポーツ機能がどのように維持されるか。 ・地域の文化活動を伝承する場が確保されるか。	【共通】 地域の方々が一堂に会することのできる一定規模のホールが確保され、文化活動の場が維持される。 ○充実したホールが整備され、文化振興に寄与する。	◎	○武道館機能が複合化され、新規施設整備が図られる。	◎	○武道館機能が複合化され、新規施設整備が図られる。	◎		○	大沢野文化会館廃止
⑤ 少子化対策	・子育て世代に使い勝手の良い施設が維持されるか。	【共通】 子育て支援機能は地域内に維持される。	△		△	○子育て世代や子供も楽しめる地域の学びの場が確保される。	◎	○ワンストップで立ち寄りやすい新規複合施設に児童館機能が移転される。	◎	配置変更無
⑥ 利便性の確保	・公共交通とのアクセス性が改善されるか。	【共通】 国道41号線沿いに複合施設が整備されるため、拠点施設の利便性は維持。（大幅な移転を伴う施設機能についてはアクセス性が改善）	△	○武道館のアクセス性向上	◎	○武道館のアクセス性向上	◎	○児童館のアクセス性向上	◎	配置変更無
⑦ 安全性の確保	・耐震性は改善されるか。 ・避難所として必要な機能が確保されるか。	【共通】 耐震性に課題のある施設が解消され、安全性が確保される。新規複合施設が避難所として機能し、備蓄倉庫など必要な機能の確保を目指す。	◎		◎		◎		◎	大沢野行政センター耐震性無
⑧ 財源の確保	・民間活力をどの程度活用できるか。	【共通】 官民連携による民間活力を活用する事業スキームを導入することで地域外から人を呼び込む仕掛けについて提案を求めることが可能になる。 ○充実したホール整備により、民間提案の余地・選択肢が広がる	◎		○	◎地域資源を活かした学び・遊びに関するイベント・仕掛けに民間の創意を反映しやすい。	◎		○	現状のまま